

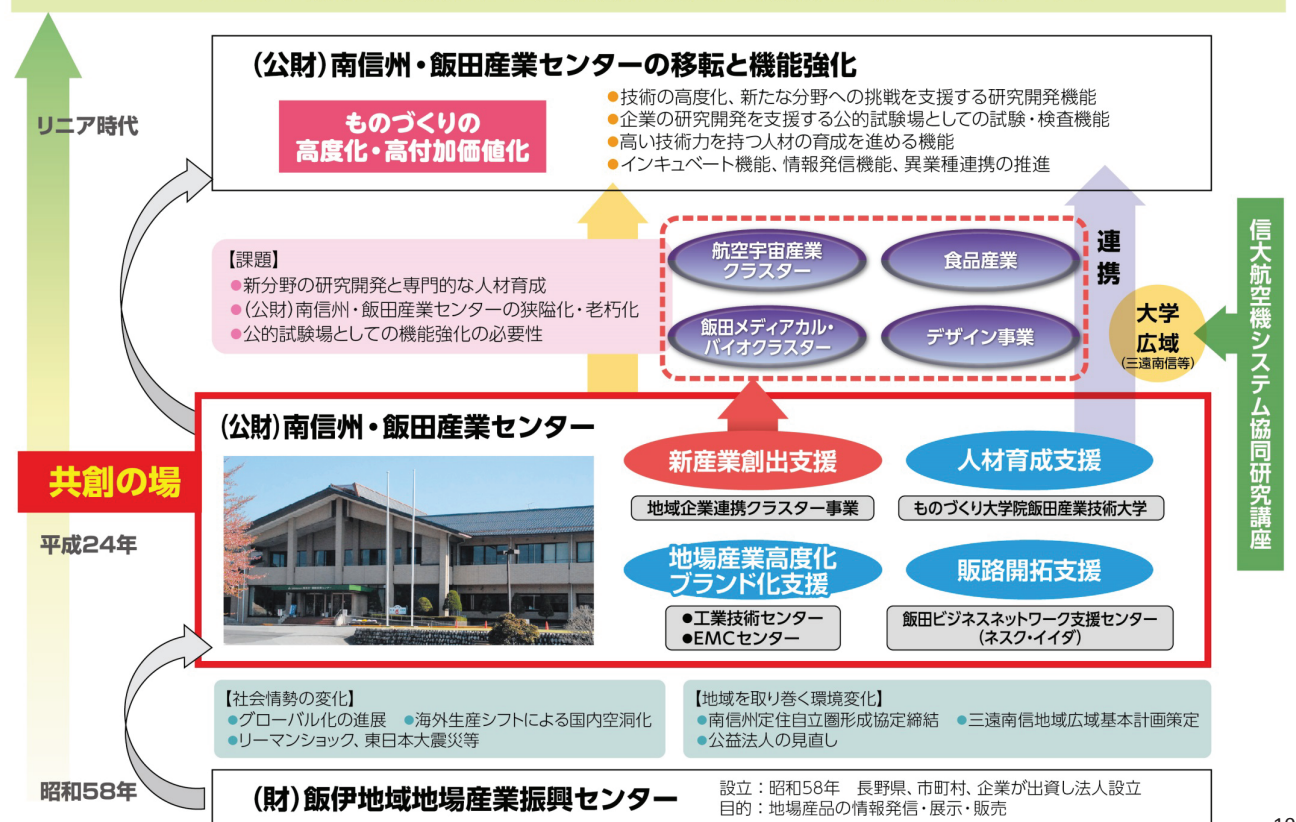
アクセス向上・玄関口 リニアに関連した社会資本整備



「共創の場」の機能を有する公益財団法人南信州・飯田産業センター

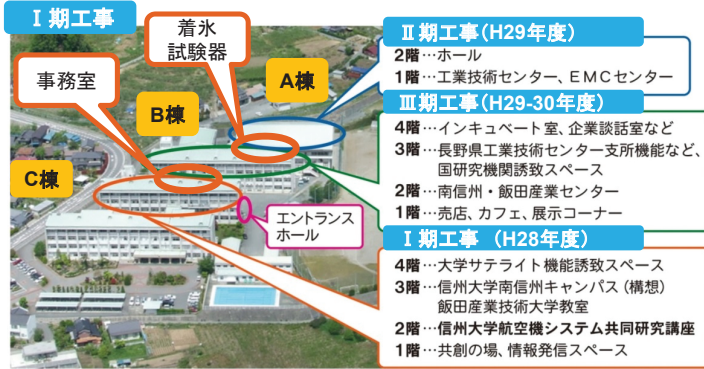
多機能高付加価値都市圏・ここで豊かに暮らす

リニア時代を見据えた地域産業の更なる発展を支える拠点づくり



新たな産業振興の拠点(旧県立飯田工業高校)改修整備工事の概要

多機能高付加価値都市圏・ここで豊かに暮らす



愛称 **エス・バード(S-BIRD)**

長野県の航空機産業振興推進の意思及び南信州地域の産業振興と人材育成の拠点として意思を、コンセプト、理念、概念で構成し、表現した愛称です。

- ・ 南信(South Shinshu)、信州(Shinshu)のS
- ・ 鳥(Bird)が飛行する様から航空機をイメージ
- ・ 躍進(Breakthrough) イノベーション(Innovation) 研究開発(Research and Development)
- ・ 長野・南信の地から研究開発によりイノベーションを創出し躍進するイメージ

○所在地：飯田市座光寺3349-1 ○施設竣工：平成元年
○土地：29筆 46,705.47㎡ ○建物：14棟14,489.36㎡

「信州大学航空機システム共同研究講座」(2年間) H29: 3人、H30:5人 ⇒ 現在 8人
「電気機器関連制御技術社会人スキルアップコース」(1年間) H29:11人(定員10人)、H30:4人(定員5人)



イノベーションを創出する「広域連携」と「社会資本整備」の連動

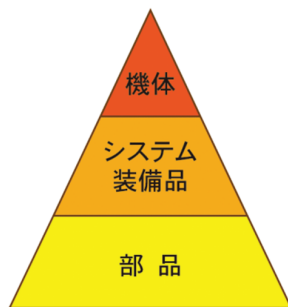
アジア最大・最強を目指す
「アジアNo.1航空宇宙産業クラスター形成特区」

多機能高付加価値都市圏
ここで豊かに暮らす

日本の航空機・部品生産額の約5割を占める我が国最大の航空宇宙産業集積地「愛知・岐阜・三重地域」

さらなる集積と機能強化

研究開発から設計・開発、飛行試験、製造・販売、保守管理までの一貫体制を構築し、アジアの新興国等の追従を許さない、一大集積地を形成



- 凡例
- アジア No. 1 航空宇宙産業クラスター形成特区指定地方公共団体
 - アジア No. 1 航空宇宙産業クラスター形成特区指定企業
 - 三遠南信地域 (東三河・南信州・遠州地域)

【長野県・静岡県を新たに区域拡大】
飯田下伊那34企業及び6自治体(長野県を含む)が参画
平成26年2月18日 推進協議会にて拡大承認
同年 4月21日 国へ区域変更申請
同年 6月26日 国による区域の指定
同年 8月29日 国へ事業計画変更報告